

科学技術週間における施設一般公開

去る4月24日(日)、建築研究所(協力:国土技術政策総合研究所)による施設一般公開を行いました。今年は223名という多くの方々にご参加いただきました。

午前10時から午後4時までA・B・Cの3グループに分かれて、火災風洞実験棟、CLT木造試験棟、ばくろ試験場、建築環境実験棟、通風実験棟、風雨実験棟、実大火災実験棟を見学していただきました。

施設一般公開におきましては、今後も皆様のご期待・ご希望にお応えできる企画を用意していきますので、ぜひ一度建築研究所に足を運んでみて下さい。

~~~~~ 見学風景 ~~~~~

Aコース

《火災風洞実験棟》



—強風時の火事の様子—

「風が吹いている時とそうでない時で、家の燃え方がどのように違うかを、直径4mの大型ファンを使用した模型実験を行い、建物火災に及ぼす風の影響を体験しました。

《CLT木造試験棟》



—新しい木質材料CLTを使った

木造試験棟を体験しよう—

国産の杉を使ったCLTを利用した実物大の試験棟を見学し、高性能な木造建築物を体験しました。

Bコース

《ばくろ試験場》



—耐久性を屋外で検証—

ばくろ試験場に設置されている各種建築材料のばくろ試験の内容とその状況を見ながら、種類ごとの耐久性の違いを学びました。

《建築環境実験棟(人工空実験室)》



—昼間の室内視環境の人工的な再現—

昼間の室内視環境を人工的に再現し、模型により体験しました。

Cコース

《通風実験棟》



—通風状態の可視化—

煙を使って、窓に対してどの角度（風向き）で風が入ればより室内に取り込めるかを観察しました。

《風雨実験棟》



—竜巻を見てみよう—

2012年につくば市、2013年に越谷市で発生した竜巻被害の様子を紹介しました。
また、竜巻発生装置で竜巻状の風を再現して竜巻の力や飛散物の動きを観察しました。

《実大火災実験棟》



—ビル火災と煙の流れ—

火災時の煙の流れの模型実験を観察しました。
また、避難する際に煙から逃れるための対策を学びました。

見学ツアーにご参加いただき、ありがとうございました。
来年もツアー見学を予定しております。是非、ご参加下さい。お待ちしております。

